



積丹っ子の夏の思い出

= 伝統・文化・スポーツ・学び =



た。
ロールなどの泳法を教わりまし
た。1年生から6年生までの児
童が泳力に合わせたグループで
水泳指導を受けました。2日間
で延べ15名の児童が参加し、低
学年児童は水慣れのプログラム
やキック練習、高学年児童はク

B

「B」
&Gジュニア水泳教
室」が7月30日・31
日の2日間開催さ

楽しく学ぶ「水泳教室」

B&G

町内各小学校の夏休み期間中、B&G海洋センターで、
多くの友達と一緒に思い出づくりに励みました！



プログラム」が開校されました。
7月27日の「川辺の部」に
は、14名の児童が参加し、ライ
フジャケットを着用して美国川
付近での川遊び、川の生物採集
を行ったほか、ストーンペイン
ティング体験を行いました。

7

月27日と8月6日の
2日間、「体験教室
『B&G自然体験プ

心と身体を育む体験



8月6日は「森林の部」が催
され、14名の児童が海洋セン
ター敷地内の小さな森の中で活
動する「森の学習プログラム」、
私たちの生活に大切な「水」に
ついて学ぶ「水の学習プログラ
ム」や、自分だけのデコキャン
ドルをつくる「クラフト製作」
を行いました。
参加した児童たちは、自然体
験活動を通じて仲間との共助の
意識や親から離れて生活する自
立心を育みました。

令

B&G水泳大会参加

和6年度B&G北海
道ブロック・スポー
ツ交流交流会「水泳

の部」が8月4日、沼田町B
G海洋センターで行われ、全道
11市町の海洋センターから69名
の選手が参加しました。

積丹町ジュニアスイミングク
ラブのメンバー14名も、日頃の
練習の成果を競い合い、全道の
海洋センターやスイミングクラ
ブの仲間との交流を深めまし
た。



積丹っ子の夏の思い出

= 伝統・文化・スポーツ・学び =



全力出し切った全道大会

「古平・仁木合同野球スポーツ少年団」

昨年4月から仁木町も加わった合同野球チーム「古平・仁木合同野球スポーツ少年団」が、6月上旬「ホクレン旗争奪北海道少年軟式野球選手権大会」の後志支部予選で準優勝。優勝チームが欠場のため、繰り上がりで7月27日から麻生球場・太陽球場（札幌市）の全道大会に出場しました。結果は2対4で敗れ、惜しくも初戦敗退でしたが、所属する3名の積丹っ子は感想を次のように話してくれました。

① かざしま れいじ 笠嶋 玲志（美国小5年）

「試合には負けましたが、とても良い雰囲気野球ができました。来年も全道大会に出場して頑張りたいです！」

② しまだ あいのすけ 嶋田 愛之助（美国小3年）

「これからも練習を頑張り、来年はレギュラーとして全道大会に出場できるように頑張ります。」

③ みなみがた そうた 南方 颯太（美国小3年）

「全道大会の大舞台で野球ができてうれしかったです。来年も全道大会に出場して、必ず勝てるように今まで以上に練習します！」



▲左から①笠嶋選手、②嶋田選手、③南方選手

9年ぶり 2024盆踊り

8月13日に「2024盆踊り」が^{いこい}憩の広場（美国町）で催されました。美国町での盆踊りは、平成27年から9年ぶりで、早い時間から開始を待ちきれない人々が大勢集まりました。

会場では、やぐらから聞こえる太鼓の音とソーラン節で踊る盆踊りのほか、美国町内の飲食事業者の出店や、ヨーヨー釣り、スーパーボールすくいの縁日ゲームなどで楽しむ子どもたちとその姿を見守る地域の人たちの笑顔で溢れていました。主催者の池田和聡さん（株池田設備 代表取締役）は、「来年もまた会いましょう！」と宣言し、盆踊りを締めくくりました。

町民や地域の自主的なお盆のにぎわいづくりを、郷土の伝統行事としてみんなで育てていきたいものです。

暮らしを支える税金を学ぶ！

野塚・余別小集合学習「租税教室」



7月24日、野塚・余別小の児童5名が税金について学ぶ「租税教室」が余別小学校で開かれました。

租税教室は、次代を担う児童に税の意義や役割を正しく理解してもらうため、学校からの希望により授業の一環として行われるものです。

税務署から派遣依頼のあった町税務課職員が講師となり、私たちの身近な税金の種類、税収の状況や使われ方、税金がどのようなところで暮らしに役立っているのかなどについてクイズ等を取り入れた学習を行いました。

児童は、積極的に手を挙げてクイズに答え、私たちの毎日の生活に大きく関わり、欠くことのできない「税の仕組みと大切さ」を学ぶ貴重な機会となりました。